

# 第4期 pES club step4 大会カリキュラム

平成17年7月31日  
虎の門病院分院 内科総合診療科  
南郷 栄秀  
<http://spell.umin.jp>

目標：正しい日本語を使いこなし、卒業後に、社会人としての礼儀をわきまえることができる。

## 1. 日本語ワークシート

正しい言葉遣いの基本を確認するための演習問題。例会当日までに「4pES\_test」を解いておき、当日答え合わせをする。正解率がトップの者に5ポイント、2位の者に3ポイントを与える。

## 2. 就職面接シミュレーション(4期生のみ)

就職試験の模擬演習として、教官を相手に面接を行う。「4pES\_interview」を参照し、準備をしておくこと。面接官がそれぞれ3点満点で評価する。

## 3. 社会人としての礼儀

初対面の人への挨拶の仕方、電話の応対などを学ぶ。各自、自分の名刺を10枚作成し、例会当日に持参すること。電話の応対に関しては、「4pES\_telephone」を参照すること。

## 4. 患者への説明

医歯看護学生それぞれを対象としたシナリオに基づいて、学生が医療者役となり、教官を患者役としてロールプレイを行う。

医学生用シナリオ : 「4pES\_scenario7M」

歯学生用シナリオ : 「4pES\_scenario7D」

看護学生用シナリオ : 「4pES\_scenario7N」

ロールプレイの時間は1人15分とする。

終了後、5分間の相互評価を行う。評価のポイントは、非医療従事者(患者)にとって分かりやすい説明か、適切な表現を用いているか。話す速さは適切か、仕草や態度は適切か、適切な表現を用いているか、である。

1人の学生に対する評価の持ち点は、教官は3点、学生は1点とする。教官は4名が評価にあたるため、 $3 \times 4 = 12$ 点満点となる。一方、学生は、部分参加となる人がいることを考慮し、評価にあたった学生の数に応じて、下記の通り按分する。学生分の得点は10点を満点とする。

総合得点 = 講師4名の合計得点 + 学生分の合計得点 / 評価を行った学生数  $\times 10$

この総合得点は、年間のポイントに合算する。

## **5. 紹介状の書き方**

実際に作成された紹介状について、不適切と思われる部分を指摘し、どのように書けばよいか考える。

## **6. メールの書き方**

電子メールを書く上での基本的なマナーを学ぶ。また、実際にやり取りされたメールの表現について、不適切と思われる部分を指摘し、修正する。

5, 6 に関しては、当日、資料を配布する。